

一つひとつ心を込めて丁寧に作りました。



おひなさま特集

樹脂ねんどで作成



バラの花作り
とってもおもしろい!



「この色でいいかしら…」
(ねんどを好みの色調整中)

一枚一枚花びらを重ねて飾りのバラの花を作成中です

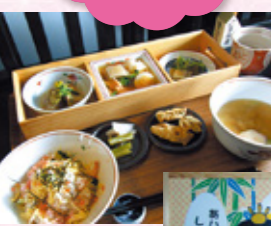


「細かくて大変だの～」

和紙人形づくり

職「休みやすみやりましょう!」
利「ひな祭りまででがしたいの～」

ひな御膳
会食 in
しるけっあーの様
テンダー



楽しい
ねっ!



庄内の味を感じさせる食材を使った、ひな御膳を頂きました。「あんかけ料理が最高!」と完食。

ご近所の菅原様より
梅の花をたくさん頂きました。

各事業所の玄関先、浴室、フロア内に飾らせて頂き、季節を感じ、目を楽ませて頂きました。



ラーメン
珍道中
エタニティ

たくさんメニューがある「いせはら様」のラーメンを堪能してきました。お店のご厚意により、今回は貸切。会話の声も自然と大きくなり、楽しくおなかもいっぱいのお外出となりました。



四段になってる～!



ひな会食
in 酒田
アブラ

地元の材料を使った料理を提供して下さる「旬味 井筒様」に行ってきました。

すごいね～



四段弁当を開けたときの「わあ～」と幸せのため息、あまりの美味しさに黙々と食事に夢中。たけのこも出て初物だと喜ばれ、ちらし寿司にあつあつの鍋豆腐、何を食べても「おいしい!!」と大好評。久しぶりに酒田観光が出来「今日は本当に楽しい一日だった～」と大満足のご様子でした。



ラーメン
おいしい!

雛めぐり
ツアー
相馬楼様&山居倉庫
アメニティ

「舞娘茶屋 相馬楼様」にて艶やかな演舞に「綺麗だのう」と皆様うっとり。山居倉庫の「芳香亭様」で雛御膳を堪能され、傘福や土人形など様々な雛人形をゆっくりと鑑賞されました。



「新茶屋様」で結婚式をされた方、玉子焼きの味を忘れられない方、昔変わらずの建物に思い出が溢れ自然と笑顔になっていました。2階に飾られたお雛様を見学するために、急な階段もなんのその…、素敵な雛人形にうっとり…。

ひな御膳
会食 in
新茶屋様
いずん



ひまわり

心に残るお話

『愛のことば』

「埋み火」第二集より
 おおむらじょうこう 東京都品川区
 著／大室了皓 浄土宗光取寺住職

「やる気を出させるにはどうしたら良いか。主人ともいろいろ話して聞かせているんですが」

むつかしい相談である。訓戒をして、それが出来るものなら誰も苦勞はしない。出来ない子を持つ世界中の親の悩みである。それが解ったら、ノーベル賞ものだ。

アメリカのある研究所が調査した。身体、学力ともに優れているハイスクールの生徒千人の母親にアンケートを出して、つぎの質問に答えてもらった。

「これほどの素晴らしいお子様に育てあげるのに、どう御苦勞をされましたか」

予想をしなかった返事が寄せられた。そのほとんどは、「親の愛の深さを、どうしたら子供自身に解ってもらえるか」であったという。

子供を愛していない親はいない。愛していればこそ「勉強しなさい」という言葉が出るのである。しかし子供は、それを愛情のあらわれと受け取ってはくれない。小言と取られずに、愛の言葉と受けとめてもらえるようにするには、どうしたらよいか。そういう苦勞をした。というのがこの調査の結果である。小言のたびに、子は親から離れて、ついには手の届かない所へ行ってしまう。

このことは、大人との間でも考えねばと、反省するのである。



ひまわりのオリジナル体操完成

アバの曲
「ダンシング クイーン」



ひまわりの看護師が創作した「ひまわりオリジナル体操」が完成しました。曲が流れると自然に体が動き出す様な、軽快で楽しく、誰でも無理なく出来る体操になっています。ちょっとお洒落な「DANCING QUEEN」の曲に合わせ、一緒に健康維持を目標に続けていきましょう！



居宅介護支援事業所
 訪問介護事業所
 アメニティハウスひまわり
 グループホームひまわり
 ☎0235-25-5145
 鶴岡市稲生一丁目3-5



デイサービス
 テンダリーハウス
 ☎0235-29-1852
 鶴岡市みどり町22-7-2



エタニティハウスひまわり
 ☎0235-25-5160
 デイサービス いいずん
 ☎0235-64-0604
 鶴岡市稲生一丁目3-45



デイサービス
 アブラ
 ☎0235-64-0302
 鶴岡市稲生一丁目4-53



株式会社ひまわり ☎0235-25-5145 www.himawari-s.co.jp
 〒997-0834
 山形県鶴岡市稲生一丁目3-5 アメニティハウスひまわり2F

高口光子様 研修会

H28年
 3/14・15



現在TVや全国各地での講演会活動等でご活躍されている「介護老人保健施設 星のしずくの看護・介護部長」高口光子様を講師に迎え、2日間に渡り開催された研修会。新人の職員のみならず、経験を積んだ介護員の心にも響く、とてもわかりやすい内容の介護研修でした。いくつかの感想文をご紹介します。

テンダリー 菅原トモ子

認知症の事、ストレスの事、すべて介護の仕事には欠かせない大切な内容ばかりでした。その中でも「分かり合える仲間が居る事」と言う言葉がとても印象的でした。分かり合える仲間、今の私達はどんなだろう。「全てを受け入れ、これがその人だから」と言う思いでケアをして来た自分が率直な感情を打ち明けられず心の中に閉じ込め、苦しい思いをしたことがあったのを思い出し、先生のおっしゃった「一人ではない、語り合える仲間がいる」と言う、うわべだけではない仲間「チーム」作りを大切に、プロ意識を持ちながら続けて行ける環境を作って行きたいと思いました。

いいずん 安部 智恵

「食べたい」「食べさせたい」この2つが成立することを「介護」と言う。高口さんのこの言葉を耳にした時、介護の基本を知らされた思いだった。介護の仕事をしていると、本人の意思にそぐわない事も出て来ます。その人らしさを生かした介護をめざすには、自分の能力など課題は多くありますが、介護を通してのマイナス感情を内に秘めてはいけなく、感情を出せる仲間、環境も大切であり察知できる能力も必要と感じた。チームワークの大切さを改めて考える研修会だった。学びを生かせるように、日々の業務に取り組んでいきたいと感じる。

アブラ 石栗 麗子

初めて高口先生の研修会に参加させて頂きました。認知症の事については、聴いたり、勉強したりしてきましたがお話を聴き、なるほどなー、と思う事ばかりでした。色々な課題を経て人間は衰えてしまうけれども、私はお客様を支え、ケアをさせて頂く立場です。だからこそ、人間らしく、その人らしさを常に考え喜んで頂ける看護、介護をしていきたいと改めて思い、実践していきたいと思えます。そして、お客様と共に生きていけるように努力して参ります。また、とても楽しい研修会でした。

テンダリー 佐々木 淳子

認知症の方と接していると、バリバリ仕事をしていた時はどんな感じだったのかな、どんなお母さんだったのかななど、思うことがあります。その人らしく生きぬいて頂く為にその人らしさを守りぬく事が、認知症のお年寄りのお客様に私達ができること。尊敬の念を持ったあたたかい介護で接していきたいと思えました。そしてお客様の言葉にならない声が聴こえる、その方がしてほしいことをわかってあげられる介護員になりたいと思えました。一日、一日を後悔することなく頑張っていこうと思えました。

推進会議 開催

2カ月に1回各方面の皆様をお願いし会議を開催しております。今回は時間と場所を変えての会となりました。毎回多方面の方々からの情報をお聞きしたり、ご意見を頂いたり年度末に向けての有意義な「メ」の会となりました。



グループホーム